

牛久：学校周辺に見る自然

第16号 ひたち野うしく小、中根小

2011年6月18日発行

＜ ツバメが巣立ちました ＞



巣立ったばかりのヒナ（左）とそれを見守るような親ツバメ（右） 6/14 ひたち野うしく小

先日、6月14日に、ひたち野うしく小のツバメが巣立ちました。学校ホームページで、ちょうどその日の「校長日記」に、巣の中に並んで親ツバメを待つ3羽のようすが紹介されていましたが、どうやらその3羽のようです。駐車場のフェンスに仲良く3羽並んでいました。カラスが時折降りてきては狙っている様子で、巣からは親鳥が見守っていました。無事に育って、また、ひたち野うしく小に戻ってきてくれるといいですね。この日の午前、中根小では、お父さんとお母さんなのか、親ツバメが2羽ではさむようにして、カラスを追い払っているのを見ました。すごい勢いで、戦闘機のスクランブルのようでした。



巣材を口にくわえた親鳥（左：夫婦で協力して巣作りをします。）と、巣づくり（右） 5/19中根小

こちらはその1ヶ月近く前(5/19)、中根小での巣作りの様子です。くり返し巣材を運びこんでは、少しずつ巣を作り上げていきました。

巣立って間もない頃には、巣には戻りませんが、エサはまだ親にもらうようです。左の写真は、一昨年、中根小5年生と鹿嶋神社周辺の生き物観察した時のものです。親鳥が運んできたトンボをあっという間に食べてしまいました。巣立ち後2週間ほどたつと、自分でエサを捕れるようになるそうです。 【理科支援員 宮内】

親鳥の運んだトンボを取りあうヒナ(2009/6/23)

